

～法人に対するご意見等ございましたら自由にご記入ください～

【ご意見】（くらイフ）

親亡き後を考えると、グループホームを増やしてもらえると、ありがたいです。よろしくをお願いします。

【返 答】

ご記入ありがとうございます。当法人では、現在3棟のホームを運営しております。

- 青江Ⅰ 身辺動作が自立している方が対象（定員10名）
- 青江Ⅱ 生活全般に支援が必要な方が対象（定員8名）+短期入所（定員2名）
- 青江Ⅲ 軽度な身体障害を抱える方が対象（定員6名）

現状、24名の定員に対し、30名以上の待機者がおられる現状です。ご家庭の事情でお急ぎのようでしたら、担当の相談支援専門員ともしっかりと話し合い、他法人様の入所系サービスの情報を収集し、複数箇所で申し込みを行っておくことも方法の1つではないかと思えます。

勿論、当法人といたしましても、優先度の高い事業として、グループホームの増設を中期計画に盛り込んでおります。現状、明確な時期まではお伝えできませんが、進展があり次第ご報告させていただきますので、今しばらくお待ちください。

グループホームめやす箱 管理者 橋本 裕史

【ご意見】（オープンセサミ）

オープンセサミが近くにあるグループホームの広い方の駐車場はでこぼこがあるんですけどできないようにできますか？車をとめるとこのふだもあれでいいんですか？

【返 答】

ご記入ありがとうございます。グループホームめやす箱青江Ⅰの隣にごございます駐車場に関しましては、これまで賃貸契約でお借りしておりましたが、現在グループホーム増設の計画が進んでおり、今年度法人で購入いたしました。今後グループホームを建築する際、併せて砂利からアスファルトに変更する予定となっておりますので、それまでの間は定期的に整地してまいります。しばらくの間はご不便をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

また立て札に関しましては、駐車場をお借りしていた際に、めやす箱以外の契約者もおられたため、判別できるよう簡易的に設置しておりました。現在は全てめやす箱が所有する敷地となっておりますので、すでに撤去しております。また、車輪止めも元の大家様が設置されたものをそのまま使用しておりますが、アスファルトを打つ際併せて整備する予定ですので、今しばらくお待ちください。

グループホームめやす箱 管理者 橋本 裕史

【ご意見】（カラフル）

ショートステイ先がなかなか無いので、新しく始めていただけたら嬉しいです。

【返 答】

ご記入ありがとうございます。めやす箱の短期入所は定員2名で運営しておりますが、登録者の増加に伴いほぼ定員いっぱいの状況となっております。大変申し訳ございませんが、全てのご希望にお応えできていないのが現状です。

既存の建物に部屋の余剰はなく、助成金等の補助を受けて立てた事業所は定員数等を変更することが難しいため、短期入所を増やすには新たに施設を増設するしか方法がございません。しかしながら、定員枠を増やしたとしても、空き状況を作り続けると経営が成り立たないため、どうしても枠を埋めるしか方法がございません。また、短期入所は不特定多数の方がご利用されるため、対応する職員にも高い支援力が求められ、人材確保という大きな課題もございます。実際に対応できる職員が確保できず、規模縮小を余儀なくされている事業所も出ております。

短期入所は様々な理由から経営が難しく、現状のニーズだけでは空床を埋めきることが難しいとの見解です。定員増は慎重に協議しておりますが、現時点で明確な目途は立っておりません。ご満足いただける回答ができず誠に申し訳ございません。いただいたご要望を真摯に受け止め、引き続き短期入所の定員増について、法人本部で検討を続けてまいります。

緊急時の受入に関しましては、倉敷市内の短期入所事業者が輪番制で緊急短期入所の受け入れを行っております。めやす箱のサービス利用されている方で、倉敷市が発行した受給者証をお持ちの方であれば、めやす箱で緊急受け入れを行うことが可能です。ご家族の病気や入院等やむを得ない事情がある場合は、できる限り協力させていただきますので、まずは日中活動先の管理者もしくはグループホームまでご一報ください。ただし、倉敷市以外の自治体から受給者証が発行されている方につきましては、お住まいの地域生活拠点（基幹相談支援センター）が緊急対応窓口となり、受け入れを行う短期入所も受給者証を発行している市町村の事業所となります。申し訳ございませんが、緊急時は担当の相談支援専門員まで連絡していただきますようお願いいたします。

入所部門統括責任者 馬場 英典